

## 取扱いの趣旨

プロポフォル注射剤は、添付文書の効能・効果が「全身麻酔の導入及び維持」、「集中治療における人工呼吸中の鎮静」である全身麻酔・鎮静用剤であることから、上部、下部消化管内視鏡検査時等の算定は、原則として認められない。

## 支払基金が公表している取扱いの全文

【検査】 《令和7年6月30日》

576 プロポフォル注射剤（上部、下部消化管内視鏡検査時等）の算定について

### ○ 取扱い

次の場合のプロポフォル注射剤（１％ディプリバン注等）の算定は、原則として認められない。

- (1)上部、下部消化管内視鏡検査時
- (2)D215超音波検査時

### ○ 取扱いを作成した根拠等

プロポフォル注射剤（１％ディプリバン注等）は、添付文書の効能・効果が「全身麻酔の導入及び維持」、「集中治療における人工呼吸中の鎮静」である全身麻酔・鎮静用剤であり、催眠・鎮静剤と明確に区別している。一般的に上記検査時では当該医薬品を使用する状態ではないと考える。

以上のことから、上記検査時の当該医薬品の算定は、原則として認められないと判断した。

## グラフの見方

### 1 棒グラフ(該当レセプトの審査結果)

当該事例の取扱いの対象となる診療行為（医薬品、特定器材）を算定している目視対象レセプト  
1万件当たり、取扱いの趣旨に該当するレセプト件数

### 2 折れ線グラフ

取扱いの趣旨に該当するレセプトのうち、  
査定・返戻となった割合

【棒グラフ凡例】 審査の結果

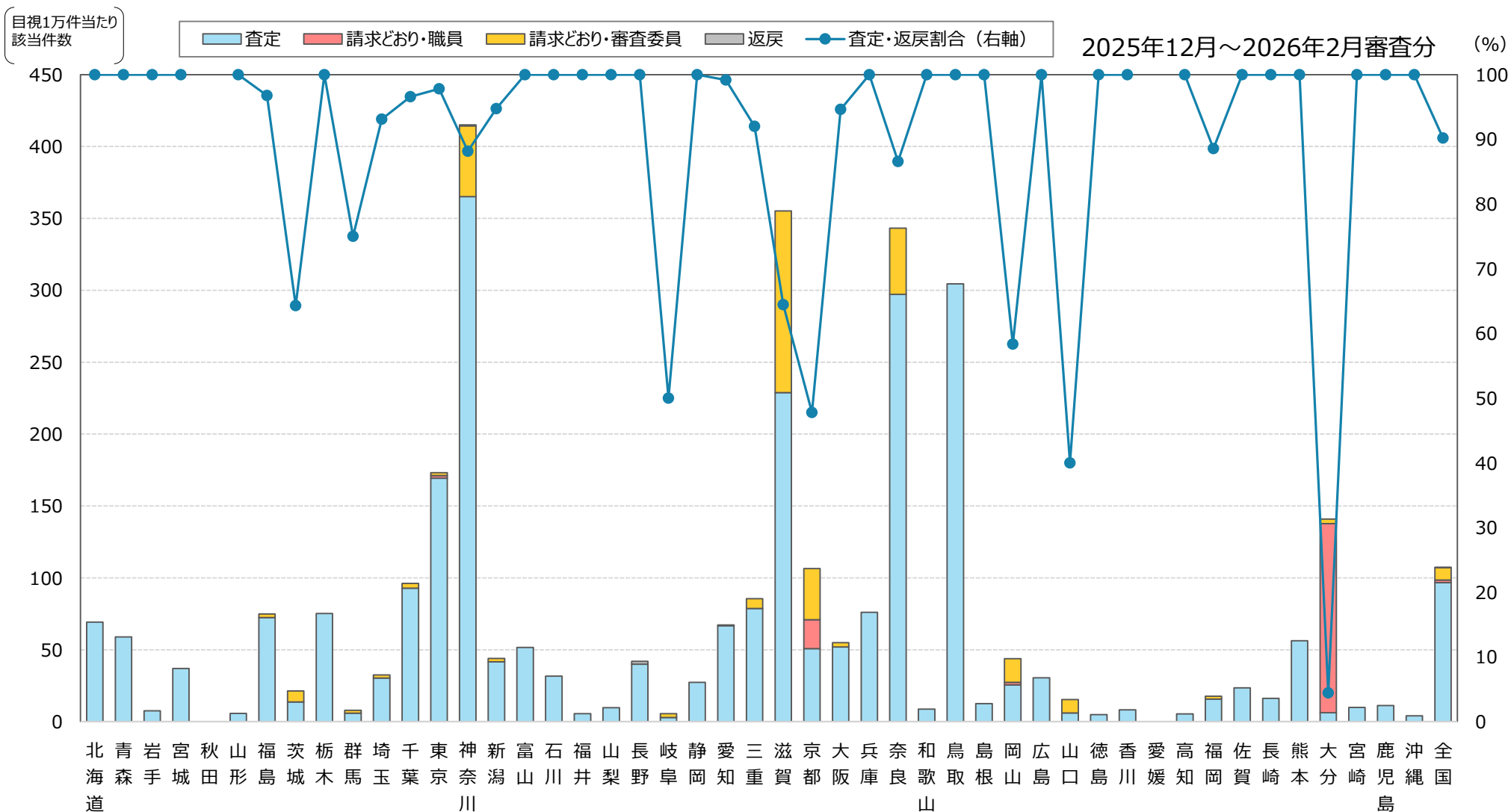
査定	返戻	: 取扱いどおり
請求どおり 職員	請求どおり 審査委員	: 検証が必要

## 審査結果の概要

- 全国の査定・返戻割合 90.20%
- 検証対象都道府県 9

検証観点	都道府県	備考
査定・返戻割合が低い	大分、山口、京都、岡山、茨城、滋賀、奈良、神奈川、福岡	査定・返戻割合の低い順
請求どおり・職員	大分、京都、岡山	対象1万件当たり件数の多い順
請求どおり・審査委員	滋賀、神奈川、奈良、京都、岡山、山口、茨城、大分、福岡	//

該当件数（全国）	【条件】	4,083件
取扱いに基づく審査	査定・返戻の計	3,683件
検証を必要とする審査	請求どおり	400件



【該当件数】 取扱いの趣旨に該当したレセプト件数